



# ロードサイド・ステーション

会員 大森 祐輔 (66 期)

道の駅巡り。修習時代を旭川で過ごしたことを契機に、これが私の趣味の一つとなった。

道の駅とは、市などを設置者とする休憩や地域連携機能を備えた施設のことで、昨年11月時点で1,134駅が登録されている。

折角、執筆の機会をいただいたので、これまで訪れた150の道の駅の中で印象に残った駅をいくつか簡単に紹介したい。

## 1 保田小学校 (千葉県鋸南町)

富津立山道路の鋸南保田インターを降りてすぐの比較的新しい道の駅。廃校となった小学校を改装して作られた駅で、程よい自然の中、ノスタルジックな気分になることができる。昔懐かしい小学校の風景をそのままに、物販や食堂（給食が食べられる）また子供の遊ぶスペースが充実しており、関東屈指のクオリティを誇る道の駅だと思う。房総観光のスタート地点としても是非お勧めしたい。

## 2 日立おさかなセンター (茨城県日立市)

井ぶりを片手に好きな具材を選び、自分好みの海鮮丼を作るというのは釧路の勝手丼や青森ののっけ丼だけではない。茨城にもある。その名は身勝手丼。釧路、青森もちろん旨いが、ここも旨い。魚の種類自体はそれほど多くないが、海の幸を十分楽しめる。また来たいと思う道の駅の一つである。なお、今年初め都心部では野菜の価格が高騰していたが、ここの直売所は値段据え置きで妻が大騒ぎしていた。購入した野菜を両手に記念撮影までさせられた。

## 3 こすげ (山梨県小菅村)

ここのお勧めポイントは何といっても隣接している温泉施設小菅の湯の泉質である。源泉温度30度以上、PH9.98の高アルカリ性の本格派で、風呂上りにはお肌スベスベ効果を実感できる。泉質にこだわる私の父もさぞかし気に入るであろう。

## 4 ららん藤岡 (群馬県藤岡市)

上越自動車道を軽井沢方面に車を走らせていると、同駅のマスコットキャラららんちゃんの大きな看板が見える。道の駅にしては珍しく小規模の遊園地が併設されており、子連れ家族にとっては格好の遊び場と思われる。年季の入った味のある遊具に娘は少々ビビリ気味だったが、最後は名残惜しくなったのか、なかなかそこを離れなかった。また、遊園地脇にあった韓国料理のお店がおいしかったと記憶している。藤岡市周辺の新鮮な野菜を使った地産地消のお店で地元では人気があるそうだ。

## 5 大和 そよかぜ館 (佐賀県大和町)

母方の実家近くにあり、毎年お盆の時期には必ず立ち寄る。そばを流れる嘉瀬川の素晴らしい景色には、温泉とは異なる癒しの効果がある。地物の野菜やお惣菜などの品揃えも豊富である。祖父母の育てたお米も販売されており、子供当時は店頭に並んでいるそれを見るだけでとてもうれしい気持ちになった。今年も夏が待ち遠しい。

将来的にはキャンピングカーを購入し、日本全国の道の駅を制覇する予定である。



道の駅鴨川オーシャンパークにて